

「制度環境小委員会中間取りまとめ（案）」に対する意見

「低炭素社会の実現」「グリーンイノベーションの実現」という政策課題に対し、再生可能エネルギーの買取費用負担を電気の使用量に応じて負担する方式も公平の一つの考え方であろうが、政策目的に鑑みれば何を持って公平とするか、電力多消費産業への負担軽減からも公平性に十分配慮願いたい。

2. 外生的・固定的コストの料金反映 (P. 7 20 行～23 行、注釈 8,9)

・ 意見内容

再生可能エネルギーの殆どを占める太陽光発電の負担を太陽光がなく電力を発生していない時間帯である夜間の電力使用量へも負担させる昼夜一律負担でなく、昼間の電力使用量分に応じて負担する方式として頂きたい。

・ 理由

電力多消費産業は、生産工程の工夫や設備投資等により、夜間休祭日に負荷をシフトすることで負荷平準化へ大きく寄与すると共に、コスト削減に努力してきている。夜間電力にも買取費用を上乗せすることは、結果として負荷平準化へ貢献している産業の経営への圧迫要因になり、電力多消費産業の競争力に影響を与えることとなる。負荷平準化への貢献を評価して、夜間電力には負担を強いることなく発生原因と見合いの昼間電力分だけで負担する方式として頂きたい。